

北海道畜産草地学会報原稿作成要領

1. 原著論文の体裁は、表題、著者名、所属機関名、所在地（市町村名、郵便番号）、和文キーワード、英文表題、英文著者名、英文所属機関名、英文所在地、英文キーワード、要約、英文要約、連絡著者名（所属、住所、郵便番号、電話番号、ファックス番号、Eメールアドレス）、緒言、材料および方法、結果、考察、文献、図表（説明文を含む）の順序とする。結果および考察はひとまとめにして記述してもよい。謝辞の必要がある場合は考察の後につける。表題から英文キーワードまでを第1ページ、要約を第2ページ、英文要約を第3ページ、第4ページより緒言以下を作成する。本文の図、表、写真の挿入場所は矢印を付けて指定する。写真の説明文、図および表は英文あるいは和文とする。研究ノート・技術レポートの記述は、原著論文の記述法に準ずるが、英文要約は不要である。研究の性格の特殊性により、投稿の手引きに従うことが困難な場合には、異なった体裁でも編集委員会で許可することができる。
2. 投稿論文および図表は、コンピュータソフト MS word を用いて作成し、1つの PDF 形式ファイルとし、編集委員会まで E メール添付書類として投稿する。ファイルには以下のように名前を付ける。以下“Author”は、第一著者の姓とする。
 - ・原稿 Author (.pdf)
 - ・カバーレター Author_Cov (.pdf) (Author と Cov の間はアンダーバー。編集委員長宛とし、著者/論文情報などを記載する。)
3. 原稿および表は、コンピュータソフト MS word を用いて作成し、PDF ファイルに変換後に E-mail に添付して投稿する。A4 版用紙に、横書きとし、上下左右とも 2.5cm の余白を設け、全角 35 字×34 行/ページとする。ページ番号は中央下、行番号はページごとに左側の余白に記入する。専門用語は、原則として文部省学術用語審議会編「学術用語集」、日本畜産学会編「新畜産用語辞典」を参照する。
4. 動植物の和名はカタカナで、学名等は、イタリック体とする。
5. 本文中の外人名は原名つづりのままで Mills のように姓のみを書き、2名連名の場合は Mills and Jenny のように and でつなぎ並記する。3名以上の連名の場合は Mills et al. のように最初の著者名に et al. をつけ、他は省略する。
6. 本文中の日本人名も姓のみを記し上記に準ずる。
7. 本文中の文献引用箇所には、以下のように記入する。Smith et al. (1992) は食肉の解硬

メカニズム，保水性の回復（三浦，1990A；関川と佐藤，1992）および風味の向上について（三浦，1990B）……

8. 本文中の人名以外の外国語は原字またはカタカナで書く.
9. 数字はすべて算用数字を用いる. また，諸単位の略号は原則として以下のような SI 単位を用いる.

km, m, cm, mm, μ m, nm, kl, l, ml, μ l, kg, g, mg, μ g, ng, pg, h, min, s, mol, M, N, ppm, ppb, J, $^{\circ}$ C, Pa, rpm, Hz, %

10. 引用した文献のリストは，次の手順により作成する.

①雑誌に掲載された文献の記載は，全員の著者名（発行年）表題.雑誌名,巻：最初－最終ページの順とする.

例

Drori, D. and J. K. Loosli (1959A) Influence of fistulation on the digestibility of feeds by steers. J. Anim. Sci., 18:206-210.

佐々木清綱・松本久喜・西田周作・細田達雄・茂木一重（1950）牛の血液型に関する研究.日畜会報, 27:73-76.

②単行本の記載は，著者名（発行年）書名.版.引用ページ.出版社.発行地.の順とする. 分担執筆の場合は書名の後に灸……の項執筆球と書き，編集または監修者名を加える.

例

Nalbandov, A. V. (1963) Advances in neuron endocrinology. 2nd ed. 156-187. Univ. of Illinois Press. Urbana.

Folley, S. J. and F. H. Malpress (1948) Hormonal control of mammary growth. in The Hormones vol. I. (Pincuss, G. and K. V. Thimann, eds.) 695-743. Academic Press. New York.
諏訪紀夫（1977）定量形態学.第1版.12-23.岩波書店.東京.

③文献の記載には正確を期し，とくに巻，ページを正しく書く.

④文献リストは，まず筆頭者名のアルファベット順に，同一著者による複数の文献があれば発表順に整理する.

⑤その上で，同一著者による複数の文献が同一年にあれば，発表年の後に大文字のアルファベットで区別する（作成要領 6，参照）.

11. 特殊な刊行物を引用する場合は，下記の例にならない全タイトルを記す.

農林水産省統計情報部編（1990）平成元年食肉流通統計. 347-351. 農林統計協会. 東京.

12. 図版の原図および表については，次の規定に従う.

- ①原図はコンピュータソフトにより作成する。原図のファイル形式は JPEG, TIFF, EPS, PDF としてサイズは 5MB を超えないのが望ましい。投稿時は、原稿および表と共に 1 つの PDF 形式ファイルとし、E-mail に添付して投稿する。掲載決定後、印刷用に原図を提出する。
 - ②原図は原則として、図中の文字および数字をも含めて、そのまま印刷できるものとする。
 - ③原図の周囲には 2.5 cm 幅の余白を残す。
 - ④図表は、A4 サイズとする。
 - ⑤原稿の最後に、図および表の表題および説明文をまとめて添付する。
 - ⑥カラー図は実費を著者負担とする。
13. 要約は総説で 600 字程度、原著論文で 400 字程度、研究ノートおよび技術レポートでは 300 字程度とする。原著論文には 250 語程度の英文要約もつける。
14. キーワードは 5 個以内で、和文と英文の両方で記載し、所在地の次に以下のように記入する。
- キーワード：**アミノペプチダーゼ, 酸性極限 pH, 遊離アミノ酸
- Keywords :** amino peptidase, ultimate pH, free amino acid
15. 提出原稿に以下の内容を記述した原稿送り状を添付する。発送年月日、表題、略表題、著者名、所属機関名、所在地（市町村名、郵便番号）、英文表題、英文著者名、英文所属機関名、英文所在地、投稿者氏名、連絡著者名（所属、住所、郵便番号、電話番号、ファックス番号、E メールアドレス）、原稿の種別（原著論文、研究ノート、技術レポート、その他（具体的に））、原稿枚数（本文、表、図、図の説明のそれぞれの枚数と合計枚数）、別刷りの部数。なお、略表題は、和文は 15 文字以内、英文は 40 文字（スペース含む）以内とする。
16. 原稿を英文で作成する場合も、基本的に本投稿規定に従う。記述の順および原稿送り状については、「英文」を「和文」、また、「和文」を「英文」と読み替える。英文はアメリカ英語で作成する。字体は 12 ポイントのダブルスペースで印字する。1 ページ当たり 26 行とする。なお、英文では、約 600 語が刷り上がり 1 ページとなる。
17. 掲載決定後、別刷の申込が著者に送付される。また、著作権譲渡同意書(学会 HP よりダウンロード)を作成し、直接郵送あるいはスキャナーで読み込み後 PDF 形式ファイルとしたものを編集委員会宛に送らなければならない。

18. 本要領の改正に当たっては、編集委員会の承認を得るものとする。